

思いを乗せ遠くまで

幸田町 豊坂小 企業がゴム動力飛行機を寄贈

幸田町六栗の自動車部品メーカー「鈴木化学工業所」(小幡和史社長)がこのほど、同町豊坂小学校にゴム動力飛行機九十機(四万五百万円相当)を寄贈し、四日に同校で試験飛行が行われた。

三年生約七十五人が参加し、教室で飛行機の組み立てに挑戦。専用キットに入っている



ゴム動力飛行機を飛ばす児童ら＝幸田町豊坂小学校で

割り箸や羽根、プロペラなどを教員らの指導を受けながら完成させた。

体育館で行われた試験飛行では、子どもたちが各自の機体を「テーク・オフ」。最初はうまく飛ばせなかった児童も回を重ねるうちにこつを習得し、機体が体育館の後ろや天井近くまで飛んでいくよ

うになると、歓声を上げて喜んでいた。

山本聖悟君(八)は「着陸した後にもタイヤで前に進んでいくのが楽しかった」と満足げな表情を見せた。同校などによると、今回の寄贈は同校と交

は動力源あって動くということを作りながら知ってもらい、興味を持った子の中からものづくり業界の仲間になってくれる子が出てくれればうれしい」と期待を込めた。

今後は、同隊が活動する近くの森での本飛行を予定しているという。(犬塚誠)

世界王者から学ぶ

岡崎市宮崎小で一輪車講習会

岡崎市宮崎小学校で四日、一輪車講習会が開かれた。一、六年生十四人が、全国、世界

大会で優勝経験がある選手から乗り方や技を学んだ。東京から川崎渡田一



講師に支えられて一輪車を練習する児童＝岡崎市宮崎小学校で

輪車クラブの小木真由子さんと伊勢原一輪車クラブの佐藤彩香さんが来校。小木さんが「スピン」「アラバスク(片足を後ろに上げる)」といった技を披露すると、歓声が上が